

わかたの棚田 再生をめざします！

わかたは『大町市美麻』大藤と小藤の間、北アルプスの爺が岳から白馬3山が見渡せるところにあります。現在は耕作されていない棚田が多く、長い間荒れ放題になっている「元棚田」もあります。

以前の棚田を再生し、地域内外の人々の交流を楽しみながら棚田を保存する試みを始めており、現在『わかたの棚田を再生(保存)会』の会員を募集しています。棚田再生や稲作は『ちょっと古い時代の様式で手作業を主』にしたいと思います。収益追求というよりは、田植え、稲刈り、脱穀作業、草刈りまでも、イベント的に和気藹々楽しみながら美麻の景観を含む環境を整え、そして何より地域や参加者同士の交流が、みんなの元気につながることを願っています。

わかたの棚田再生(保存)会 代表 伊藤勝雄

募集する会員

- | | | |
|-----------|-------|--|
| 1、運営会員 | 数名 | 【棚田を再生して経営する。利益を期待しない方が望ましい】 |
| 2、オーナー会員 | 10名程度 | 【年会費10,000円。もみ約60kg還元予定(精米後白米約40キロ)】 |
| 3、サポーター会員 | 多数 | 【会費無料。会の趣旨に賛同し作業支援、イベントなどに参加
主に自然豊かな里山での協働やイベントの提案など、みんなで楽しむことに知恵と労力を提供してくれる会員。 |
| 4、地権者会員 | | 【棚田や活動用地の地権者のみなさん】
わかた地区で水田を自己管理するか、会の活動用地を提供する会員。
用地利用料は、会は負担しないことを原則とする。 |

わかたの棚田再生(保存)会の運営

- *会員登録者には会の予定や様子を連絡する。
- *登録の有無にかかわらずイベント参加は可能。会費は徴収しないが、イベントに伴う経費は参加者で実費負担。(例 パーベキュー大会など)
- *田植、稲刈り、脱穀作業、棚田周辺を含む草刈り作業等はイベントとして行う。
その他の作業は、作業内容によって査定の上労賃を支給できる場合がある。

■連絡先：わかたの棚田再生(保存)会

代 表：伊藤勝雄 TEL/FAX共通 0261-29-2120 携帯 090-1557-8064
メール Kt-itoh@miasa.ne.jp

関東支部：具[くー] TEL/横浜 045-595-3177 (夜間)
メール mkoo@ayasecorporation.com



開墾準備中のわかた棚田

